

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（3月）

氏名：白越 明

留学先：ルーマニア・アメリカ大学

<はじめに>

こんにちは、初めまして。ルーマニア・アメリカ大学に2月末から留学している、国際地域学部3年の白越明（しらこしあかり）です。ルーマニアには来年の2月末まで、約1年間留学する予定です。私が通っているルーマニア・アメリカ大学は、ルーマニアの首都ブカレストの少し郊外のところにあります。ルーマニアでの生活については、また後ほど詳しくお話します。実は、福井大学から同じ大学にあと2人留学しているので、私は少し違った目線からルーマニアについてお話できればと思っています。

まず、ルーマニアに来て一番よく聞かれる質問は、「なんでルーマニアにきたの?」と「日本で何を勉強していたの?」です。これらの質問に一言で答えるのは私にとってなかなか難しいです。ルーマニアを選んだ理由はいろいろあるのですが、一番は“日本とは全く異なる文化”そして“日本人があまりいない”という点に惹かれたからでしょうか。私は最初からアメリカやオーストラリアなどの英語圏の国に留学するつもりはありませんでした。私は、英語の語学留学をするわけではないし、そういった日本人にとってより身近で人気の国には将来訪れる機会もあるかもしれないと思ったからです。こんな機会でもなければ、ルーマニアを訪れる、ましてや1年間も住むなんて経験は一生できないのではないかと、思いルーマニアを選びました。半分好奇心です。笑

そして、「日本で何を勉強していたのか?」これは非常に答えるのが難しい質問です。なぜなら、私のいる国際地域学部は専門がない学部だからです。英語は一貫してやっていましたが、私にとって英語は学ぶためのツールであって、将来英語を教えるためなどに勉強しているわけではありません。言語学や、国際関係、哲学、教育における社会格差など幅広い授業を受けてきましたが、日本では専門はありませんでした。留学先で、専門性を身に付けたい。これも1つの留学の目的です。ルーマニア・アメリカ大学はビジネス系専門の大学で、私はインターナショナルビジネスの学部で勉強しています。英語+もう1つの武器をこの留学で身に付けます。前書きが長くなってしまい、申し訳ありません。この後は、ルーマニアでの実際の



生活についてお話していきたいと思います。

<ルーマニアでの日々の生活>

ルーマニアに来る前は、不安がほとんどでした。ネットでルーマニアについて調べると、スリ、ひったくり、ぼったくり、野犬、ドラック……悪いことしか出てきませんでした。しかし、実際ブカレストに来てみると、治安は全然よかったです。スリやひったくりには、もちろん十分気を付けてはいますが、まわりでも被害にあったという話は聞いたことがありません。タクシーも安いのでよく利用しますが、Taxify というアプリケーションを使って呼べるのでぼったくりに遭うこともありません。野犬は小さなかわいい犬を一匹見ただけです。夜に1人で、バスや地下鉄に乗ることもありましたが、全く問題ありませんでした。もちろん、福井に比べれば治安は良いとはいえませんが、やはり、百聞は一見に如かずとはこのことですね。ネットの情報を鵜呑みにしてはいけませんね。

～寮生活～

私が住んでいるのは、ルーマニア・アメリカ大学の寮で、福井大学から来たもう一人の日本人と、韓国からの留学生の女3人部屋です。衛生的にはとても綺麗だと思います（他の留学先の友達はまずは掃除から始めたといっていたので）。各部屋には、シャワーとトイレがついています。簡単に言うと、ホテルの3人部屋のイメージに近いと思います。私が到着した次の週には、気温がマイナス10℃以下になりとても寒かったのですが、部屋の暖房はずっとつけっぱなしにできるので、部屋ではとても快適でした。寮と大学が隣接しており、平日の日中は外に出なくても、カフェテリアを通して教室まで行くことができます。また、寮のロビーにはいつもセキュリティのおじさんがいるので安心です。これらの点では、とても良い寮だと思います。しかし、寮には冷蔵庫、キッチン、洗濯機、冷房がありません。洗濯をするなら、クリーニングレディ（かなり気まぐれ）に頼むか、バスと地下鉄に乗って優しいおばさんのいる洗濯屋さんまで持っていかなくてはならないのが面倒です。冷蔵庫は、現在ルームメイトと一緒に購入を検討中です。これからどんどん暑くなってくるので、冷房なしで生きていけるのか心配です。

～授業～

ルーマニアに着いた次の週から、いきなり授業が始まりました。私がとっている授業は、Macroeconomics, Marketing Policy and Strategy, EU Competition Policy の3つです。どれも比較的少人数のクラスです。やはり、一番最初に感じたのは自分の英語力不足でした。先生が話していることは、よく聞いていけばだいたい分かります。ただ、質問をされたときに答えられないのです。先生はよく生徒に意見を求めますし、生徒も積極的に意見を述べたり質問をしたりします。授業の内容自体はそんなに難しくなく、自分も他の生徒に負けなく

らいしっかりとした意見を持っているのにそれが言葉にできない、発言できない、というのがとてももどかしく、自分が情けなくなります。たまに、小学生レベルのことさえも英語で伝えられないときには、本当に泣きたくくなります。私がとっているのはすべて英語での授業で、他の生徒もルーマニア語が話せない留学生がほとんどです。英語が母国語の人はほとんどいません。みな、他の言語を母国語としており、さらに英語が話せるのです。“英語は話せて普通、別に特別なことじゃない”これを実感させられました。日本にいたら、なかなか気づけませんが。まず、会話力の強化と、ビジネスを学ぶための専門的な知識と計算の用語（×、÷、分数など）を覚えることにしました。

<まとめ>

まだまだ、ごはん、友達、行ったところなど書きたいことが山ほどあるのですが今回はこれくらいにして、また次回報告できたらと思います。ルーマニアにきて1ヶ月と少し、振り返るとあっという間で、とても充実していました。日々の生活にも少しずつ慣れ、寮に帰ってくるとほっとするようになりました。残り11ヶ月、なんでも挑戦していきたいです！

